

ヒアリング調査から抽出された課題及び対応方法【管理項目に関する課題】

No.	分類	課題内容	対応方法	ヒアリング等					
				神奈川	静岡	福島	豊橋	千葉	その他
1	項目追加	「再開届出書」のタグを新設してほしい。 下記項目を追加してほしい。 「算定根拠の記入欄」（JIS計算式、建物用途によっては算定に要する定員数や便器数等を記入）、「休止予定期間」、「休止の理由」（空き家、売却予定など）、「休止清掃の有無」、「再開予定日入力欄」、「再開届出年月日」	浄化槽基本テーブルに下記項目を追加する。 「算定根拠」、「休止予定期間」、「休止の理由」、「休止前清掃の年月日」、「再開の予定年月日」 「使用再開届出書」のタブを設け、届出区分コードに下記項目を追加する。 「使用再開届出書」	●					
2	項目追加	県が設定している浄化槽番号と関連業者の使用している浄化槽番号をリンクさせる必要があるため、台帳項目として、保守点検業者、清掃業者、指定検査機関がそれぞれで使用している浄化槽番号が必要と考えている。 維持管理や法定検査情報は電子データで入力して一括取り込みで充分。市町村は最初に台帳入れ、それ以外は他に任せるのが理想である。	保守点検テーブル及び清掃テーブルに下記項目を追加する。 「保守点検業者独自の浄化槽番号」、「清掃業者独自の浄化槽番号」		●	●			
3	項目追加	設置届出書に記載されている設置場所は地名地番で提出されるが、使用開始の報告に記載されている設置場所はそれとは異なり、住居表示で提出されるため、別途項目が必要である。	浄化槽基本テーブルに下記項目を追加する。 「設置場所（住居表示）」		●			●	
4	コード内容変更	プロトタイプの画面イメージには、浄化槽の種別として「合併処理浄化槽」、「単独処理浄化槽」、「その他」が示されているが、豊橋市の台帳には種別が不明な情報が多く含まれており、これが「その他」に相当すると考えられる。	処理対象に「その他」を追加する。				●		
5	履歴項目追加	指定検査機関が管理している台帳システムでは1回の変更分の履歴を残しているが、県ではその情報を閲覧できない。特に浄化槽管理者の履歴を閲覧できるとよい。	浄化槽基本履歴テーブルに下記項目を追加する。 「浄化槽管理者氏名」、「浄化槽管理者住所」、「浄化槽管理者電話番号」、「浄化槽技術管理者名」					●	
6	入力タブ変更 (基本設計書の修正)	「浄化槽設置（工事完了）年月日」は、浄化槽台帳登録の「その他」のタブで入力するか、工事情報として入力できるようにすればよいのではないか。	「浄化槽設置（工事完了）年月日」を「その他」タブへ移動する。		●				
7	必須項目	浄化槽について入力する項目が膨大で内容が細かい。また、管理者からの報告義務がないことから把握できず且つ必要性の低い情報が多い。必須項目は必要最低限にしてほしい。	必須項目は「浄化槽識別子」「市町村コード」「浄化槽の状況」「設置場所の地名地番」「処理の対象」とする。	●					

ヒアリング調査から抽出された課題及び対応方法【管理項目に関する課題】

No.	分類	課題内容	対応方法	ヒアリング等					
				神奈川	静岡	福島	豊橋	千葉	その他
8	項目定義変更	項目定義を修正したい。 ・指導監督の「苦情・改善・指導」は100文字では足りない ・設置者電話番号に、「-」の有無に関係なく入力できるほうがよい ・保守点検の「記録票」は100文字では足りない ・法定検査不適正の場合のその原因が1つしか選べない。	下記のとおり項目定義を修正する。 ○浄化槽基本テーブル 設置者電話番号：桁数11→13 使用者電話番号：桁数11→13 浄化槽管理者電話番号：桁数11→13 ○浄化槽基本履歴テーブル 設置者電話番号：桁数11→13 使用者電話番号：桁数11→13 ○指導監督テーブル 苦情・改善・指導：100→1000 ○保守点検テーブル 記録票：100→1000 ○法定検査テーブル (不適正の場合) その原因：フリー入力欄	●					
9	データベース KEY情報変更	浄化槽基本テーブルに紐づく全ての子テーブル（保守点検、清掃、法定検査等）に主キーである「連番」が存在していない。	以下のテーブルに「連番」「浄化槽連番」をKEY項目として追加する。 保守点検、清掃、工事、届出履歴、法定検査、指導監督						●
10	帳票イメージ	機能要件定義書に記載されている帳票イメージに「浄化槽所在地の位置情報」とあるが、位置に関連する概念データ（テーブル項目）が複数存在する。	表示対象は以下の項目とする。 浄化槽基本…緯度（観測データ）、経度（観測データ）						●
11	帳票イメージ	機能要件定義書に記載されている帳票イメージの項目について、1台帳に対し複数の情報をもつ項目が存在する。（届出履歴や維持管理関連の項目）	1台帳に対し、複数の情報をもつ項目は、最新情報のみ出力する。						●
12	項目追加	年間の保守点検の回数を記載できる欄を設けてほしい。	保守点検情報は、保守点検1回につき1レコードとなるため、年度内の点検回数をどこに入力するかを検討する必要がある。「保守点検の記録票」の枠内に回数を記載してもらうことで対応可能と考えられる。	●					
13	項目追加	公共浄化槽のフラグを台帳項目に追加する必要はないか。	「個人設置と市町村設置の区分」で判別できると考えられる。	●					
14	項目追加	保守点検記録票の水質項目については、別途記入欄を設けて記入したほうがよいと思われる。	入力項目が大幅に増加するため、今年度業務での項目追加は行わないが、要検討。			●			
15	項目追加	千葉県独自の取組みとして、大型浄化槽に関しては四半期に1回、放流水のBODを報告することになっており、その報告値の入力欄があると便利である。	千葉県独自の取組みのため、標準的な機能として実装が困難であり、対応対象外とする。					●	

ヒアリング調査から抽出された課題及び対応方法【画面イメージに関する課題】

No.	分類	課題内容	対応方法	ヒアリング等						
				神奈川	静岡	福島	豊橋	千葉	その他	
1	画面イメージ	機能要件定義書に記載されている「届出情報登録」画面には、以下の画面に遷移するためのボタンが存在していない。 ・維持管理情報登録画面 ・工事情報登録画面 ・指導監督情報登録画面	「届出情報登録」画面にボタンを追加する。							●
2	画面一覧 他	設置申請の情報を入力する際、機能選択画面の「維持管理」ボタンを押して画面遷移することに違和感がある。 「維持管理情報登録」、「工事情報登録」、「指導監督情報登録」のボタンを追加すると、届出情報の登録画面ではなくなる。画面の名称変更が必要になる。	画面及びボタンの名称を下記のとおり変更する。 ○機能選択画面のボタン名 「維持管理」ボタン→「登録」ボタン ○画面名 「届出情報登録」画面→「登録」画面 ○届出情報登録画面のボタン名 「浄化槽台帳登録」ボタン→「届出情報等登録」ボタン	●						●
3	文字表示	コード選択画面にはコードに対する内容が表示されるが、選択後、画面に遷移すると内容でなくコード値のみ表示されてしまう。【プロトタイプの課題】	設定されたコード値を画面上に表示するのではなく、該当する内容を表示する。	●						
4	日付選択画面	年単位でカレンダーを移動できるようにしてほしい。	年移動可能なカレンダーとする。また、年の移動手順について、マニュアルに記載する。	●						
5	ウィンドウサイズ	台帳検索ウィンドウや維持管理ウィンドウについて、地図上に重なってしまい、同時に確認することができなくなる。ウィンドウサイズを自由に変更できるようにしてほしい。【プロトタイプの課題】	ウィンドウサイズを変更できるようにする。ただし、画面内項目の縮小等はできないようにする。	●						

ヒアリング調査から抽出された課題及び対応方法【機能に関する課題】

No.	分類	課題内容	対応方法	ヒアリング等						
				神奈川	静岡	福島	豊橋	千葉	その他	
1	コード管理機能	下記コードは各自治体で異なるが、更新する機能が存在しない。 ・浄化槽型式 ・浄化槽メーカー ・浄化槽工事予定業者名 ・保守点検業者名 ・清掃業者名	該当コードは変更されることがある情報であることを鑑み、業務効率性のために下記対応を行う。 コードをデータベースでなく、ファイルで管理するしくみ とし、画面上はファイルからデータを取得し、変換して表示する機能を実装する。なお、各ファイルは自治体が修正・管理することとする。							●
2	台帳登録/修正機能	届出関係全般の情報が、地図上の浄化槽シンボルを選択してからでないと登録できないことが不便。 「台帳検索⇒地図表示⇒維持管理⇒シンボルクリック⇒届出履歴⇒各項目入力」と非常に作業が煩雑。 また、自分がクリックした浄化槽が該当の浄化槽であるか否か、維持管理画面からでは浄化槽情報を参照できないため判別が不可能。 浄化槽の設置基数が多すぎることもあり、GIS機能の活用はあまり考えていない。	地図上の浄化槽位置を選択せずに情報を登録できるようにする 。また、情報の追加及び修正時は、検索結果から台帳修正画面に遷移できるようにする。	●	●					
3	台帳登録/修正機能	変更届が変更入力をしなくても登録できてしまう。間違えて入力した場合、修正ができない。【プロトタイプの課題】	台帳保存／届出履歴保存の両画面で保存時に確認メッセージを表示する。（変更届の場合、届出の登録を忘れずにしてください。等）また、変更届の情報は修正及び削除できるようにする。	●						
4	台帳登録/修正機能	「履歴削除」をクリックした場合、簡単に消すことができるため、情報を誤って削除する恐れがある。（履歴の復元もできない模様）【プロトタイプの課題】	履歴削除操作を実施する場合、二重の確認メッセージを表示するようにする。	●						
5	台帳登録/修正機能	設置届出書の「処理対象」は、処理方式を選択することで自動的に「単独又は合併」が入力できると、入力の手間がなくなりスムーズになってよい。	方式名に値を設定した際、「処理の対象」へ値を自動付与するようにする。	●						
6	台帳登録/修正機能	入力エラーにより追加完了できない時に、修正を要する箇所が表示されるとよい。	登録時、エラーとなった原因を表示するようにする。	●						
7	台帳登録/修正機能	使用開始予定年月日は着工予定年月日よりも後になると思うので、誤入力を防ぐために、登録時に注意喚起の表示がでるとよい。	チェック機能にワーニングとして追加する。	●						
8	台帳登録/修正機能	届出区分で「使用開始の報告」を選択しても、管理者名（技術管理者を含む）等の情報を入力することができない。【プロトタイプの課題】	届出の選択によって入力不可とならないようにする。（変更以外も含む）	●						
9	検索機能	「人槽（範囲）」、「メーカー型式」、「設置または廃止届受理日の指定の期間」、「休止中/廃止済」、「建築用途」、「特定年度の法定検査受検の有無または結果」で検索したい。 検索結果の件数を表示してほしい。	「人槽」や「設置・廃止届出があった特定の期間内」の範囲検索を条件設定できるようにする。 「休止中/廃止済」、「建築用途」、「特定年度の法定検査受検の有無または結果」の検索条件を追加する。 検索結果件数を表示 するようにする。	●						

ヒアリング調査から抽出された課題及び対応方法【機能に関する課題】

No.	分類	課題内容	対応方法	ヒアリング等					
				神奈川	静岡	福島	豊橋	千葉	その他
10	検索機能	期間を指定して、その期間に保守点検が行われた浄化槽情報を出力できるとよい。 指導普及調査の7条検査対象件数を算出するため、検索機能等で月ごとの設置件数を出せるとよい。	検索画面で日付指定の箇所については、 範囲選択 できるようにする。		●				
11	検索機能	未受検者を対象とした受検指導文書を発送するため、未受検者の絞り込みを行い、その情報を一覧表示できると便利である。	日付の検索 条件において、指定した範囲に「含まれる」データの検索に加え、「 含まれない 」データの検索も可能にする。					●	
12	検索機能	字名だけ入力することで検索ヒットできるとよい。 検索の方式は前方一致より部分一致の方が使い勝手がよい。	前方一致検索ではなく、部分一致検索による検索を行う。	●	●				
13	検索絞込機能	台帳検索結果から複数選択して、その選択した浄化槽だけ地図上にシンボルが表示されるようにできると、例えば指導対象の浄化槽がピックアップできてよい。（浄化槽を検索し、一覧に表示後、さらに目視チェックによって対象箇所を選定して絞込表示したい）	業務効率性を考慮し、 選択した浄化槽だけを地図上に絞り込んで表示 する機能を追加する。	●					
14	出力機能（基本設計書の修正）	システムで出力したデータを保守点検業者や清掃業者へ渡し、更新してもらったあとに台帳を上書き取込する運用を考えている。業社ごとの管理対象浄化槽を抽出し出力できるとよい。	現在の基本設計書では全データの一括出力となっているため、一括出力画面を検索画面から画面遷移するように変更し、 検索結果一覧でチェックをつけた台帳を対象に一括出力 するしくみに変更する。		●				
15	休止浄化槽地図表示	休止届を入力した浄化槽に関するレイヤを設定し、休止中の浄化槽がわかるようになるとうよい。	業務効率性を考慮し、 休止中の浄化槽を表示 できるように対応する。	●					
16	レイヤ削除	レイヤー一覧について、操作上不要なものであれば、表示されない方がよい。	レイヤー一覧にある項目を削除できる機能を追加する。	●					
17	ログイン機能	台帳修正等の責任の所在を明確にするため、操作者の特定が必要と考えます。また、操作者ごとにシステムの利用できる範囲を限定できる権限設定が必要です。 セキュリティの観点から、ログイン機能はあったほうがよい。	別途変更契約で対応。（ ユーザ認証、パスワード設定・変更、ユーザ情報の管理、画面・ボタンの表示制御、参照範囲制御 ）	●			●		
18	指導普及調査集計機能	指導普及調査に対応できる集計システムがあると便利である。	別途変更契約で対応。（ 出力されたデータをExcelのピボットテーブルで編集 ）	●		●		●	
19	台帳登録機能	台帳作成時、番号が 自動採番 されるとよい。 福島県浄化槽協会のシステムではIDが自動的に付与される。IDの桁数については、新規設置基数の多い自治体では注意が必要である。 自治体独自の浄化槽番号は文字列で入力したい。	各自治体番号付与のルールが統一されていないため、文字列入力可能なフリー入力欄で実装する。自動化での実装はしない。	●		●	●		
20	台帳登録機能	住所を入力する際に、小字までを選択 できるようなシステムにすると市町村にとって便利ではないか。	今年度業務の開発対象外とする。			●			
21	地図検索変換機能	地番情報を入力した際に緯度経度の情報が表示される と便利である。 設置届に入力した所在地が自動的に地図上に反映 されるようにしてほしい。 地図上の 位置データに基づき、住居表示情報が台帳に付与 されるとよい。	自治体ごとに持っている地図データに違いがあり、標準的な機能として実装が困難なため、開発対象外とする。 ただし、自動ではないが、手動による変換はQGISの機能を利用すれば可能なため、「○○○という手順で設定できます。」等の手順を操作マニュアルに記載する。	●				●	

ヒアリング調査から抽出された課題及び対応方法【機能に関する課題】

No.	分類	課題内容	対応方法	ヒアリング等					
				神奈川	静岡	福島	豊橋	千葉	その他
22	保守点検業者台帳	神奈川県では、浄化槽台帳とは別に、 保守点検業者台帳 を紙で管理している。こちらシステムへ反映することで、浄化槽の情報を一元管理したい。	今年度業務の開発対象外とする。	●					
23	写真管理機能	福島県では検査結果を電子データで送付しているが、不適正の浄化槽については紙の検査結果も添付している。また、検査結果には写真を最低4枚（異常があった場合にはより多く）添付している。添付しない場合と比べ、不適正の改善率が上昇したため、台帳システムに 写真を保存する機能 があると便利である。	写真管理機能については要件定義書の機能一覧に記載されておらず、今年度業務の開発対象外とする。			●			
24	情報一括更新機能	GIS機能を用いて下水道区域のレイヤと浄化槽設置場所のレイヤを重ね合わせ、 下水道区域内の浄化槽の情報（DBに登録された情報）を更新 したい。	下水道区域レイヤの取り込みは可能であり、目視によって更新対象となる区画の確認は可能であるが、範囲内の浄化槽を検索し、一括更新する機能は別途開発が必要になる。				●		
25	バックアップ機能	週に1回程度の頻度で 定期的にバックアップ をとる機能があるとよい。	一括出力機能を活用するとバックアップをとることが可能なため、操作手順をマニュアルに記載する。				●		
26	エラーチェック機能	業者に維持管理の情報をCSVファイルで入力してもらうことを想定している。その場合、業者がキー項目となる番号を間違えて入力していた場合、一括入力において エラーチェック は行われる仕様にしたい。	エラーチェックを実現するには、氏名、住所等を用いて確認することが考えられる。ただ、これらの情報は浄化槽基本テーブルに保持しており、業者が入力することを想定している各維持管理関連のテーブルには情報を保持していないため、エラーチェックできない。 一括入力で使用するファイル仕様で、各維持管理関連のテーブルに加えて、基本テーブルの情報を持たせることでエラーチェックは可能だが、一括入力機能を別の用途（初期のデータ整備など）で使用する場合は、項目数が増えて逆に不便になることも考えられるため、標準機能としての実装はすべきでないと考えている。				●		
27	コピー機能	検索結果一覧をコピーして表計算ソフト等に貼り付ける ことができると便利だと思われる。	クリップボードへのコピーの実装ではないが、一括出力画面を検索画面から画面遷移するように変更し、検索結果一覧でチェックをつけた台帳を対象に一括出力するしくみに変更する。一覧の情報は限られているため、こちらの機能を使用することで、より詳細な情報を出力することが可能となる。				●		